

防災連絡会議だより

23号 (令和5年4月24日)

発行 北斗市防災連絡会議

総会案内 日時 5月21日(日) 午後1時30分から
場所 北斗市総合文化センター 2階 中会議室

今年度の活動については、昨年度、実施できなかった課題を中心に、新たな課題も加えて計画を立てています。新たな計画は、来年（2024年）、防災連絡会議設立から10年目の記念すべき年を迎えるので、10周年記念の行事計画を作成したいと思っています。できるなら今年度に10周年記念行事に繋がるような活動ができるかどうか、検討していきたいと思っています。会員の皆さんのお知恵を拝借できれば幸いです。総会への参加と活発な討議をお願いいたします。

新たな防災ハンドブックで防災を進めよう

令和2年9月発行された防災ハンドブックにかわる新たな防災ハンドブックが令和5年4月3日、全戸配布されています。防災ハンドブックの改訂作業は、防災連絡会議の役員や地域委員も加えていただき、事務局、地図会社の担当者の3者で行われたものです。

津波ハザードマップについては、地図表現が鳥瞰図から洪水・土砂災害と同じ地形図を利用した編集図に変わり、避難経路も示されるなど見やすいものになっています。避難場所等についても全面的な見直しが行われ、各町内会にとって避難場所の決定がしやすくなっています。ハンドブックの完成は防災の始まりですので、各町内会で学習され、地域での活動にご活用ください。

国土地理院の地理院地図を活用してみましょう！

通信でも何度か紹介している「地理院地図」。この地理院地図には住民が必要に応じて活用できるように様々な工夫がされています。その一つが「町内会等で活用できる地図作成の仕方」です。地理院地図を開き、画面に町内会と避難場所が入るように範囲を調整し、地図画面の上にあるアイコン（作成・ファイル）をクリック、町内会の範囲を決め、避難場所を



マークします。避難経路は線で示すことができます。また、津波避難所や津波避難ビルも簡単に挿入することができます。左の地図が浜分地区の町内会の範囲を設定して作成した避難経路図です。

まずは地理院地図にアクセスして、色々やってみてください。「習うより慣れろ」ですね。スマートフォンでも見ることができますが、画面が小さいのが難点です。ちなみに防災ハンドブックにある津波ハザードマップは地理院地図を基に作成されています。総会の活動報告の

中で、ハンドブック改訂作業とハンドブックの活用について触れたいと思っていますので、そこでまたこの地理院地図の活用についてお話をさせていただきたいと思っています。

* * *

東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の事故の発生から 12 年目の 3 月 11 日に防災に関連する出来事がありましたので、2 つご紹介いたします。

■防災イベントがイオンの屋上で開催、200 名以上が参加



地域とイオンが連携した防災イベントが開催され、防災グッズの展示や炊き出しなどのブースもあり、天気にも恵まれ、家族連れの参加が多くみられました。

こうしたイベントは今後も継続して開催されることです。イベントを企画した栃木さん達の活動を防災連絡会議も応援していきたいと思います。

<写真 防災イベント会場>

■北海道防災士会道南ブロックが発足・・函館サン・リフレで総会が開かれ、正式に発足しました。代表は防災連絡会議の会員でもある上磯高校教諭の伊藤友彦さん。防災士会道南ブロックは連絡会議とは別組織ですが、連携して地域の防災活動を進めていきたいと思います。

防災ニュース

○地震切迫度 全国 31 の活断層 阪神・淡路大震災直前と同程度以上 2023 年 1 月 17 日

確率が 3% 以上は最も高い「S ランク」 北海道ではサロベツ

○トルコ・シリア大地震 内陸地震としては世界最大規模 2023 年 2 月 6 日

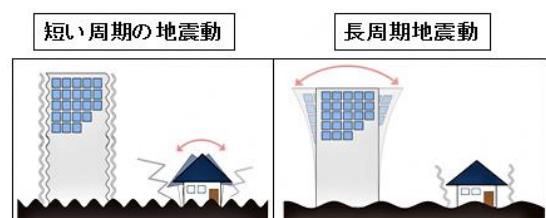
マグニチュード (M) 7・8~7・5。活断層によって地表が最大約 9・1 メートルずれ、内陸の地震で水平方向のずれとしては世界最大規模との専門家の分析。

トルコは世界最大の難民受け入れ国、シリアからの難民も多く、また、被災地であるシリアは内戦状態にあり、被災地の復旧作業は困難を極めているとの報道があります。

○気象庁は令和 5 年 (2023 年) 2 月 1 日から長周期地震動による被害の可能性がある場合も、緊急地震速報を発表することにしました。

★ ★

大きな地震で生じる、周期（揺れが 1 往復するのにかかる時間）が長い大きな揺れのことを長周期地震動といいます。これに対して周期が数秒以下、低層建物に影響を与えるのが短周期振動です。



<気象庁の資料>

トルコ・シリア地震でも注目されたのが周期が短い 1 秒から 2 秒ほどの「キラーパルス」というものです。1995 年 1 月、兵庫県南部地震でも確認されています。

事務局 北斗市総務部総務課交通防災係

電話 73-3111 (内線 212~215) メール bosai@city.hokuto.hokkaido.jp